

2020年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名(英)	教育方法論 (Educational Methodology )		
ナンバリングコード	K20107	大分類 / 難易度 科目分野	教職科目 / 標準レベル
単位数	2	配当学年 / 開講期	3年 / 前期
必修・選択区分	教職関係科目(必修)		
授業コード	K001601	クラス名	-
担当教員名	石橋 修		
履修上の注意、履修条件	教職を志望しており、教職に魅力を感じ、教職に求められる役割を習得する意欲を有していること。教育に関する幅広い分野を学ぶので、新聞の教育記事などにも日常的に目を通す習慣をつけておくこと。出席カードの配布以外に、毎回提出のミニレポートや振り返りシートでも出欠のチェックをします。予習・復習課題も毎回提出を求められるので授業開始前と授業終了後の提出・受け取りを忘れないでください。		
教科書	授業内容に対応したプリント資料を作成・配布します。		
参考文献及び指定図書	平沢茂『教育の方法と技術』図書文化,2018		
関連科目	教育原理、教育課程論等、教職に関する全科目		

○授業の目的・概要等	
授業の目的	この授業の目的は、①子ども達の資質・能力を育む方法や評価について理解し、説明できる。②学習指導理論に立脚した学習指導案作成や、教育活動遂行上必要な指導技術を駆使できる。③子ども達の情報活用能力育成のために必要な具体的情報機器活用できる。以上の目的を達成するために学習評価の4観点を念頭に授業を展開していきます。
授業の概要	本講義においては、教育効果を促進するための教育方法や技術について理解し、情報機器活用や教材作成への反映を期待する今日的要請を念頭に、教育方法についての学び、教育方法の歴史、教授理論、授業展開方法、学習指導や評価についての理解を促します。必要に応じ学習効果を高めるためのグループワークも実施します。
授業の運営方法	(1) 授業の形式 「講義形式」 (2) 複数担当の場合の方式 「該当しない」 (3) アクティブ・ラーニング グループワーク
地域志向科目	該当しない
実務経験のある教員による授業科目	本授業に関連する高等学校教員(昭和56年4月～昭和64年3月)として社会科科目を担当した実務経験をもとに実践的教育を行う。

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確認等)	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	教職の授業にふさわしい態度で、授業内容への興味関心を持ち、意欲的に学習できる。	10点	10点	
【知識・理解】	授業で扱う知識や事実について正確に理解し、自分なりの言葉で適切にまとめることができる。	30点	10点	
【技能・表現・コミュニケーション】	学んだ内容に関しての質問に適切に回答し、感想記録にも知識・理解の内容を十分に表現できる。	10点	10点	
【思考・判断・創造】	学んだことを振り返り、意味づけや自分なりの考察ができる。	10点	10点	
○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)				
<p>毎回、講義終了後に講義内容に関連した予習課題と復習課題を配布し評価します。また、ミニレポートや振り返りシートの記載内容や提出物の有無も考慮しながら、受講時の受講生仲間への配慮や、学びへの真摯さなど、教師として求められる資質について評価します。</p>				

○その他
授業に関連する質問や相談は、授業終了時と担当授業がない時間帯に研究室で受け付けます。また、不在時には研究室前の連絡版に伝言いただければ対応します。課題やレポートはチェック後に全体的な講評をしてフィードバックします。

## 2020年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	○授業計画
科目名：教育方法論 (Educational Methodology) 担当教員：石橋 修 授業コード：K001601	科目名：教育方法論 (Educational Methodology) 担当教員：石橋 修 授業コード：K001601
<b>学修内容</b>	<b>学修内容</b>
<b>1. オリエンテーション</b> 15回の授業計画についての説明し、15回の講義への見通しを明確にします。授業効果を図り、授業への動機づけ対応も考慮しながら、教育内容、教育方法、評価基準についても言及します。	<b>9. 学習指導の実際</b> 基本的な学習指導理論を踏まえながら、学習指導事例資料を提示し、学習指導の実際についての理解を促します。必要に応じ、映像による研究授業事例を基に、さらなる学習の定着を図ります。
予習：教育方法とは何かに関連した予習課題プリントを配布しますので、次回までに作成してください。(約2.0h) 復習：本時で取り上げた事項についての復習課題プリントをまとめる作業をしてください。(約2.0h)	予習：学習指導案作成に関連した予習課題プリントを次回までに作成してください。(約2.0h) 復習：本時で取り上げた事項についての復習課題プリントをまとめる作業をしてください。(約2.0h)
<b>2. 教育方法とは何か</b> 教育の方法・技術に関わる諸概念についての基本理解を促し、教育方法全般に関わる概念や授業の準備に関わる基礎概念等についての理解を深めます。	<b>10. 学習指導案作成の方法</b> 学習指導の計画や実施に不可欠な学習指導案の作成は、教育実践の要であり、教師としての力量が問われる部分であることを理解させ、実践事例の先行研究を踏まえ、作成能力を高める作業を実施します。
予習：アクティブラーニングに関連した予習課題プリントを配布しますので、次回までに作成してください。(約2.0h) 復習：本時で取り上げた事項についての復習課題プリントをまとめる作業をしてください。(約2.0h)	予習：学習指導を高めるための教授組織に関連した予習課題プリントを次回までに作成してください。(約2.0h) 復習：本時で取り上げた事項についての復習課題プリントをまとめる作業をしてください。(約2.0h)
<b>3. 主体的・対話的学びとは</b> 政策課題となったアクティブラーニングは、主体的・対話的で深い学びとしての意義が重要であり、一斉指導と個に応じた指導との関連においても理解が求められている。授業の構成要素としてのアクティブラーニングの問題についても理解を促していきます。	<b>11. 学習指導と教授組織について</b> 学習指導に要請される学習者理解や学習理論の基本を理解し、教師としての力量を高める自助努力に加え、教師集団の連携や体制づくりが重要な鍵を握る実情を理解し、共同性に立脚した教師集団組織の必要性についての理解を深めます。
予習：ソクラテス、コメニウス、ヘルバルトの教育方法論に関連した予習課題プリントを次回までに作成してください。(約2.0h) 復習：本時で取り上げた事項についての復習課題プリントをまとめる作業をしてください。(約2.0h)	予習：教育メディアに関連した予習課題プリントを次回までに作成してください。(約2.0h) 復習：本時で取り上げた事項についての復習課題プリントをまとめる作業をしてください。(約2.0h)
<b>4. 教育方法論の歴史的理解①(ソクラテス、コメニウス、ヘルバルト)</b> 教育方法の理論と歴史の観点から、問答法(ソクラテス)、事物の教育(コメニウス)、近代学校における教授法の実践者と理論(ヘルバルト)についての理解を深めます。	<b>12. 教育メディアを考える</b> 教育メディアとは何かについて言及し、教育メディア活用の理論や各種メディアの特性と利用についての理解を深めます。また、教育メディア利用の現状と課題についても検討を加え、理解を深めます。
予習：デューイ、キルパトリックの教育方法論に関連した予習課題プリントを次回までに作成してください。(約2.0h) 復習：本時で取り上げた事項についての復習課題プリントをまとめる作業をしてください。(約2.0h)	予習：ICTと教材に関連した予習課題プリントを次回までに作成してください。(約2.0h) 復習：本時で取り上げた事項についての復習課題プリントをまとめる作業をしてください。(約2.0h)
<b>5. 教育方法論の歴史的理解②(デューイ、キルパトリック)</b> 教育方法の理論と歴史の観点から、新教育運動の教授理論(デューイ)、プロジェクト・メソッド(キルパトリック)に焦点を絞り、その教授理論について学びます。	<b>13. ICT及び教材の活用</b> デジタル社会における学校教育の対応が問われていますが、教師によるICTの効果的な活用や情報処理能力の育成について解説し、電子黒板活用の実際についても理解を促します。
予習：教師に求められる授業スキルに関連した予習課題プリントを次回までに作成してください。(約2.0h) 復習：本時で取り上げた事項についての復習課題プリントをまとめる作業をしてください。(約2.0h)	予習：教育評価に関連した予習課題プリントを次回までに作成してください。(約2.0h) 復習：本時で取り上げた事項についての復習課題プリントをまとめる作業をしてください。(約2.0h)
<b>6. 学校教師と授業スキル</b> 授業における教師の役割と指導技術に関連し、授業での教師の役割や指導技術を考える基本的視点、情報や知識を提示・伝達する方法技術、意欲を引き出す工夫と授業技術、学習活動を観察し評価する方法と技術等についての理解を深めます。	<b>14. 教育方法と教育評価</b> 真正の評価が問われる昨今、測定中心の評価から問題解決の評価、あるいは資質・能力を育む教育評価がクローズアップされています。評価計画に基づくポートフォリオの作成等の説明も加え、教育評価への認識を深めます。
予習：学習指導の方法に関連した予習課題プリントを次回までに作成してください。(約2.0h) 復習：本時で取り上げた事項についての復習課題プリントをまとめる作業をしてください。(約2.0h)	予習：教育方法の今日的課題についての予習課題プリントを次回までに作成してください。(約2.0h) 復習：本時で取り上げた事項についての復習課題プリントをまとめる作業をしてください。(約2.0h)
<b>7. 学習指導の方法を学ぶ</b> 学校の主要な役割である学習指導について、話法、板書、教科書活用などの基本的技術の理解を育み、基礎的学習指導理論の理解を深めます。	<b>15. 教育方法に関わる今後の課題について</b> カリキュラムのデザイナーとしての教師という観点から、教師の力量形成の重要性の理解を図り、反省的実践者としての教師の問題を教育課程との関わりで検討し解説します。
予習：授業の教材研究に関連した予習課題プリントを次回までに作成してください。(約2.0h) 復習：本時で取り上げた事項についての復習課題プリントをまとめる作業をしてください。(約2.0h)	予習：これまで学んだ内容を補足するプリントを配布しますので、試験対策も含め、学習事項の整理をしてください。(約2.0h) 復習：本日扱った内容に関連する復習プリントを配布しますので、見直し、振り返りの作業をしてください。(約2.0h)
<b>8. 教材研究の留意点</b> 授業づくりに不可欠な教材研究についての基本的理解に関する説明を行い、研究授業で活用された教材研究事例を検討し、鋼材研究についての基本的な理解を深めます。	<b>16. 学期末試験</b> 15回分の講義内容について試験を行います。
予習：学習指導の方法の実際に関連した予習課題プリントを次回までに作成してください。(約2.0h) 復習：本時で取り上げた事項についての復習課題プリントをまとめる作業をしてください。(約2.0h)	予習： 復習：